

# 一日も早い播小プール再開に向けて

平成26年5月臨時会は5月15日、6月定例会は6月3日から11日まで開かれ、補正予算1件、条例改正2件、契約締結・変更や専決処分承認、人事案件など計10議案を可決・承認・推薦しました。また、請願1件を採択し、それに基づく意見書を1件可決しました。

一般質問は6人の議員が行い、町政についていただきました。

## 補正予算

### 播小プールの基礎を 鋼管杭に変更

一般会計の補正予算は1528万3千円増額し、予算額を100億3049万3千円としました。

歳出の主なものは、教育費の播磨小学校プール

改修事業の工事請負費で、土壌掘削中に過去の廃棄物とみられる物が出現したことから、専門業者において分析を行いました。結果は廃棄物や水質汚濁防止法の基準を満たしている物であると判明しましたが、当初の予定どおり地盤改良による工法で工事を実施しようとするれば、さらに1億円以上の費用とプール工事とは別に6カ月程度の工事期間が必要になります。

そのため、プールの大部分の基礎を鋼管杭に変更して工事を行う費用に965万1千円を増額しました。

総務費のコミュニティ推進事業の助成金は、古宮連合自治会が実施する町の無形文化財として指定されている獅子舞の獅子頭などの備品購入費や、古田東部連合自治会自主防災会の発電機など備品購入費で420万円を計上しました。

労働費の高年齢者就業機会拡大事業は、国の平成25年度補正予算で新たに地域づくり事業が創設されたことから、高年齢者就業機会拡大事業としてシルバー人材センターに委託するため、98万9千円を計上しました。

その他、民生費の子育て世帯臨時特例給付金支給事業の印刷製本費19万2千円と、消防費の災害対策活動事業の委託料25万1千円を計上しました。



▲改修を待つ播小プール用地

## 契約

### JRR土山駅南町有地 土壌改良等工事の契約変更

一部の区画を除き現場での掘削、搬出が完了したことから、処分場等への搬入重量等の実績に基づく精算により設計変更を行ったところ、設計金額が増加しました。

また一部の区画において掘削段階で建物外壁などに使用されることの多いスレート廃棄物が地中から出現しました。そこで建設機械での掘削から人力作業に変更し、汚染土壌と一緒にフレコンバッグに封入するなど、新たな作業と処理費用が増加したことから、契約金額の既議決額1億746万円を893万2680円増額し、1億1639万2680円とする契約変更を全会一致で可決しました。

## 契約

### 塵芥処理センター 改修工事

焼却炉内耐火物補修や電気集じん機補修など、ごみ焼却施設の補修工事を川崎重工業(株)関西支社と744万2千円で契約することを全会一致で可決しました。

積し、工事単価の基準額を算定したり進捗率を数値化できないか。

答 データとして基準額を算定することはこれまでではなかったが、進捗率の数値化など、今後検討していきたい。

## 質疑

問 20年に及ぶ補修工事の実績をデータとして蓄

### 播磨小学校プール 改修事業

問 地盤改良を最小限にして廃棄物の多くを敷地内に留めることで、地中に溶解し鋼管杭の腐食を進めないか。

答 地中に残る廃棄物は有害物質ではなく、鋼管杭も腐食を考慮した厚みがあるので耐久性を損なうものではない。

### 播小プール改修工事の 契約変更

問 地盤改良を最小限にして廃棄物の多くを敷地内に留めることで、地中に溶解し鋼管杭の腐食を進めないか。

答 地中に残る廃棄物は有害物質ではなく、鋼管杭も腐食を考慮した厚みがあるので耐久性を損なうものではない。

問 地表から3・8メートルの鋼管杭が強固な岩盤に届く調査はしているのか。

答 事前にボーリング調査を行い、その結果に基づき、強固な地盤に届く長さの鋼管杭で施工する。



▲収集車からごみ投入（塵芥処理センター）